

既存不適格建築物調書(建築基準法第86条の7による)

年 月 日

建築主 住所
氏名

次の既存建築物を現地調査した結果、事実と相違ありません。

年 月 日 調査員 (建築士事務所名)

(氏名)

1 既存不適格建築物敷地等の概要										
		基準時 *1				現在				
現況	申請敷地の地名地番									
	申請敷地の用途地域									
	地域地区									
	主要用途									
	基準時年月日									
	不適格の理由									
	敷地に関する不適格条項及び内容	建築基準法 第 条				内容:				
		基準時:A		現在:B		本申請による増減:C		合計:B+C=D		D/A
増築等の計画	敷地面積		m ²		m ²		m ²		m ²	
	建築面積		m ²		m ²		m ²		m ²	
	延べ床面積		m ²		m ²		m ²		m ²	
	不適格床面積		m ²		m ²		m ²		m ²	
	不適格事項 (条)									
	不適格事項 (条)									
備考										

[注意事項]

- 1 既存不適格に係る建築物の管理者又は占有者が所有者と相違する場合は、備考欄に管理者又は占有者の住所及び氏名を記入してください。
- 2 不適格事項が複合の場合は、「不適格事項(条)」欄を必要に応じて追加し、対象条項ごとに不適格事項を分けて記入してください。
- 3 必要図書等:新築又は増築等の時期を示す書類(確認済証・検査済証等)、既存建築物の副本に準ずる図書、

現状図(工事履歴、既存不適格部分が判別できるもの)、現地写真、適切に施工がされていることを示す図書等。

4 基準時とは、現に存する建築物や敷地が、法改正等により、初めて不適格になった時を言います。(令第137条)(*1)

2 既存不適格建築物等の概要(棟単位) (/)棟										
現況	着工年月日				構造					
	確認年月日・番号				用途					
	検査年月日・番号				階数					
	基準時年月日				高さ					
	既往工事の概要									
	不適格の理由									
	法第20条(構造規定)に関する不適格の条項及び内容	建築基準法施行令 第 条 内容:								
	上記以外の単体規定に関する不適格の条項及び内容	建築基準法 第 条 内容:								
		基準時:A		現在:B		本申請による増減:C		合計:B+C=D		D/A
増築等の計画	建築面積		m ²		m ²		m ²		m ²	
	延べ床面積		m ²		m ²		m ²		m ²	
	不適格床面積		m ²		m ²		m ²		m ²	
	不適格事項(条)									
	不適格事項(条)									
	不適格事項(条)									
備考										

[注意事項]

- 1 不適格事項が複合の場合は、「不適格事項(条)」欄を必要に応じて追加し、対象条項ごとに不適格事項を分けて記入してください。
- 2 増築する棟が複数の場合は、各棟ごとに追加して作成してください。